

別 記
様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和6年7月31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
京都市中京区西ノ京東柁尾町8番地
氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
学校法人立命館 理事長 森島朋三

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例
第25条第3項・第25条第4項
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、事業者行動計画を策定(変更)した事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	学校法人 立命館 理事長 森島 朋三
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	京都市中京区西ノ京東柁尾町8番地

1 事業所の概要

事業所の名称	立命館大学びわこ・くさつキャンパス					
事業所の所在地	滋賀県草津市野路東1-1-1					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	8	1	6	1	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	大学教育および研究					
従業員の数	1082	人	操業時間	8.5	時間/日	
該当する事業者の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☒ 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	7	台	熱源設備	13	台
	コンプレッサ	1336	台	空気調和設備	37	台
				照明設備	不明	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	3	年度	報告対象年度	5	年度
	終了年度	7	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

立命館学園は、立命館憲章において、「人類の未来を切り拓くため、学問研究の自由に基づき普遍的な価値の創造と人類の諸課題の解明」に向けて邁進することを宣言している。

人間を取り巻く環境の維持、新たな循環システムの構築は、まさに私たちが志す「人類の未来を切り拓く」取り組みに他ならない。自然科学のみならず、社会制度・システムの再構築や人間の行動原理の理解と解明など、様々な分野における人材育成と学術研究は、本学園が果たすべき大きな役割の一つであると認識する。

立命館は、学園構成員が、既存の枠を超え学園全体が一丸となり、教育・研究を通じて持続・循環可能な地球環境の「未来をつくる」決意をここに表明する。

1. キャンパスのエネルギー、紙、水の使用量及び廃棄物の排出量を正確に把握し、分析、評価することで、環境負荷の低減ならびにエネルギーコスト削減につなげる。キャンパス整備計画においてはエコキャンパス化を追求する。

2. 小学、中学、高校、大学、大学院それぞれの世代に合わせた環境教育を推進するとともに、児童・生徒・学生・大学院生による取り組みの支援を通じて、様々な分野で地球環境保全、環境負荷低減活動のリーダーとなる人材を育成する。

3. キャンパスを産学連携の技術開発の実験フィールドとして研究活動に活用し、また自らの環境負荷低減に繋げる。環境教育分野での、自治体・地域社会・NGO・NPO・他大学等との連携を推進する。

4. 情報公開を通じて、学園の環境への取り組みを『見える化』することにより、学園構成員の一人ひとりがその

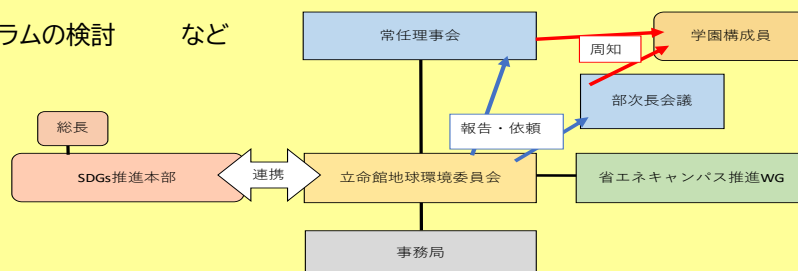
2 取組の推進体制

<推進体制> 立命館地球環境委員会(委員長:総長)

総長を委員長とした地球環境委員会(2010年2月発足)において、SDGs推進本部(2019年4月発足)とも連携しつつ、学園全体の環境保全、環境負荷削減への取り組みを検討・立案し、その実施を主導する。

○主な取組

- ・エネルギー・水・廃棄物に関するデータの継続把握(見える化)と削減対策検討と計画立案
- ・生協等、関係事業者との連携推進
- ・環境関連授業・研究数の現状・継続把握、環境関連授業・研究の質の充実検討と計画立案
- ・環境関連のシンポジウム、講演会の開催
- ・環境報告書の作成・公開
- ・提携大学・他大学・行政との連携推進
- ・環境配慮型新キャンパスの紹介、環境イベントの企画立案
- ・教職員の地球環境改善に関する取り組みの推進、学生の地球環境改善に関する取り組みの推進
- ・学生、生徒、児童中心の環境活動組織設立、学生、生徒、児童中心の環境活動組織の活動支援
- ・各環境活動組織の連携推進
- ・一貫教育における教育プログラムの検討 など

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

○コアステーション中央熱源改修と改修を契機とした省エネルギー化の推進

2019年4月にコアステーション中央熱源改修を行い、これまでのガス吸収式冷温水機のための稼働から、空冷HPチラー(優先)とガス吸収式(追従)のベストバランス目指した熱源に更新している。

主には以下の内容について取り組むことにより温室効果ガス排出量の削減等にも努め、2020年度には「滋賀県低炭素社会づくり賞」や「サステナブルキャンパス賞奨励賞」を受賞している。

- ・環境配慮への貢献(地球温暖化防止対策)
 - ⇒ 空冷ヒートポンプチラーを主に運転することによりCO₂排出量を削減
- ・夏期、冬期のピーク負荷、中間期の低負荷に対応した機器選定および搬送動力低減
 - ⇒ 冷温水2次ポンプ制御方式変更による電力量の削減
- ・電気の需要(デマンド値)の平準化
 - ⇒ 夏期冬期のピーク時にガス吸収式冷温水機の運転によるデマンド抑制対応

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	FL型蛍光灯使用照明器具を高効率照明器具に更新	令和3～7年度	継続実施中
2	設備導入	サブ電気室設置の変圧器容量適正化、更新時の省エネ型機器採用	令和3～7年度	継続実施中
3	設備導入	中央監視装置による照明・空調運転管理	令和3～7年度	継続実施中
4	設備導入	高効率中央熱源に改修後のエネルギーマネジメント取り組み	令和3～7年度	継続実施中
5	設備導入	共用部の照明の間引き、夏期暖房便座・洗浄便座温水OFF	令和3～7年度	継続実施中

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
現在は2050年までに2008年基準で学生1人当たりの温室効果ガス排出量を65%削減する目標を設定しているところ。 今後、パリ協定といった世界の動向や日本政府の削減目標も踏まえつつ、2021年度中に「2030年および2050年までの温室効果ガス削減目標」を設定予定。	本学では2021年度に新たな環境目標を設定し、2030年までにカーボンニュートラルを目指す旨、公表済み。 コロナ感染症が2023年5月に「5類感染症」に移行したことにより施設利用が活発化している一方、コロナ対策として実施した換気対策は継続していることから、空調負荷が増大し、エネルギー使用量が増加している。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(R3)年度	(R4)年度	(R5)年度	(R6)年度	(R7)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	7,175	7,980	8,534	7,854		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	10,490	12,324	11,501	13,033		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	10,490	12,324	11,501	13,033		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		28.594	31.801	34.026	34.394		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						